超整理！（３）藤原時代の政変　　苦情多くて　明日が不安

〈天皇〉		〈政治・政変〉	〈藤原北家の台頭〉
平城	譲位後、なつかしの平城京に帰った	病で弟の嵯峨に譲位。その後、病回復。	
嵯峨	兄平城から譲位 橘嘉智子皇后。	810　薬子の変　式家没落 藤原薬子、兄の藤原仲成（式家）が、平城太上天皇の重祚を図る。 842　嵯峨系と淳和系に分裂した天皇家をまとめてきた嵯峨上皇崩御。	冬嗣〈北家〉 嵯峨天皇に 24 時間仕えた側近。 蔵人頭に任命される。 ＝蔵人所の長官職。
淳和（じゅんな）	嵯峨天皇から譲位 嵯峨の子の仁明を皇太子。		
仁明	嵯峨天皇と橘嘉智子皇后の子。 淳和天皇の子の恒貞親王を皇太子	842　承和の変　協力 仁明の親心としては、嵯峨上皇が決めた恒貞親王をやめさせて、自分の子の道康親王を皇太子にしたい。その養育係の藤原良房も同じ思い。 最高権力者の橘嘉智子皇太后が、良房と相談し、恒貞親王を廃太子とする決断。 恒貞親王を守ろうとした、橘逸勢、伴健岑らを流罪。 惟喬（これたか）親王を皇太子にしたかったが、思いを自制して良房の孫の清和を皇太子に。	良房 最高権力者・橘嘉智子皇后の臣下。
文徳	本名は道康親王。		
清和	藤原良房が摂政 藤原良房の外孫	866　応天門の変 大納言伴善男が源信（左大臣みなもとのまこと）を失脚させようと応天門に放火 →伊豆流罪。紀豊城（きの・とよき）も失脚	外孫・清和が即位（9 歳） →良房、事実上の摂政に。 良房、正式に摂政に任命される
陽成（ようぜい）			基経 幼い陽成天皇の摂政。 成長した陽成天皇は粗暴（殺人） →公卿の総意で退位を求めた。 55 歳の光孝を擁立。政治経験ない光孝は基経を関白任命。 →阿衡紛議では貴族が基経に味方し、宇多は挫折、謝罪。
光孝（こうこう）	藤原基経を関白に	888　阿衡の紛議 「阿衡」の字句を口実に基経職務放棄。 →天皇が基経に謝罪、詔書を書いた橘広相流罪。	
宇多			
醍醐	延喜の治	901　菅原道真　左遷（藤原時平の陰謀）	時平　基経の長男 醍醐天皇の左大臣。 右大臣の菅原道真を左遷。 落雷直後 43 歳で急死。弟の忠平の子孫が栄える。
朱雀	承平・天慶の乱		
村上	天暦の治		
冷泉（れいぜい）	知的障がい児。藤原氏は、次の天皇には冷泉と弟の円融を希望したが左大臣の源高明が反対。	969　安和の変　源満仲が密告 左大臣源高明が失脚、大宰府に左遷。 冷泉の弟の円融が次の天皇に決まった。	武士団同士の争いもからんでいた清和源氏の 2 代目源満仲がが密告した変。源高明とともに藤原秀郷の子の藤原千晴も失脚